

川崎医科大学附属病院脳卒中科または川崎医科大学総合医療センター  
脳卒中科で 2004 年 4 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日の期間に入院し、  
退院時に網膜虚血と診断された患者さんへのお知らせ

課題名：網膜虚血により入院した患者における脳梗塞発症に関する研究

1. 研究の対象

2004 年 4 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日までの期間に、川崎医科大学附属病院脳卒中科または川崎医科大学総合医療センター脳卒中科へ入院し、網膜虚血と診断された患者さんが対象です。

2. 研究の目的・方法

一過性黒内障と網膜動脈閉塞症（2 疾患をまとめて以下では網膜虚血としています）はいずれも網膜動脈の血流障害による一時的または永続的な視覚障害をきたす疾患です。これらは脳内に血流を送る内頸動脈から分岐した眼動脈の分枝である網膜動脈の閉塞によって起こります。このため網膜虚血は虚血性脳血管障害（一過性脳虚血、脳梗塞）の高危険群であるとされ、頸動脈狭窄症や心房細動などの脳血管障害のリスクの評価を行うことが勧められています。

網膜虚血は頻度が少なく、特に一過性黒内障では症状が一時的なため、全ての患者さんで詳細に虚血性脳血管障害のリスクを調べているとは限りません。このため網膜虚血の患者さんにおける虚血性脳血管障害発症の頻度やリスク因子などは不明です。

今回我々は網膜虚血と最終診断した患者さんを後方視的に抽出し、脳血管障害発症の頻度及びその危険因子を特定する目的で、診療録より情報を収集します。

研究期間：川崎医科大学・同附属病院倫理委員会承認日から 2021 年 3 月 31 日までの期間です。

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、患者さんの基本的情報（年齢、性別、喫煙歴、既往歴など）、脳卒中診療で通常行われる診療（身体所見、神経学的所見、画像所見、超音波所見、生理検査所見など）に加え、予後調査（外来カルテ）データを収集させて頂きたいと考えています。

通常の診療情報を登録させて頂くのみですので、研究に参加して頂くことによる患者さんの追加検査、追加負担はありません。また、謝礼はありません。研究成果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは研究終了後 5 年間保管します。

4. 外部への情報の提供

上記の診療情報を研究事務局（岡山赤十字病院 脳卒中科 岩永 健）へ提供致します。

【情報の提供方法】

情報は研究事務局へ電磁的データで提供します。対応表は、当院の情報管理者が保管・管理します。

## 5. 研究機関の名称並びに研究機関の長および研究責任者の氏名

### 【研究機関の名称・研究機関の長】

川崎医科大学附属病院 脳卒中科 部長 八木田佳樹

川崎医科大学総合医療センター 脳卒中科 副部長 井上 剛

【研究責任者】川崎医科大学 脳卒中医学 教授 八木田佳樹

### <研究組織>

研究代表者（責任者）：岡山赤十字病院 脳卒中科 部長 岩永 健

## 6. お問い合わせ先

この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会で審査され、承認を得たものです。

研究に関してご質問がございましたら、研究責任者までご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### [照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先]

岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院 脳卒中科

研究責任者 川崎医科大学 脳卒中医学 教授 八木田佳樹

TEL:086-462-1111 FAX:086-464-1128

Email:yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp

## 7. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。本研究の研究資金は学内研究費を用いて行われます。本研究に関する利益相反の有無及び内容について、本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。